

# たんこぶ

自治労剣淵町職労青年部

平成27年10月5日

教宣紙：第9号



## 7月24日 平和の火リレー

7月23日～7月24日にかけて名寄地協管内を通過した第28回反核平和の火リレーが24日に剣淵町に到着し、士別市から剣淵町へ、剣淵町から和寒町へと「平和の灯」が繋がっていきました。



剣淵町職労青年部からランナーとして、今年度青年部卒業となる大内さんと、今年度から青年部に加入した精進さんが参加しました。



**【反核平和の火リレー】**1982年に被爆地ヒロシマの青年たちによって開始されました。広島市平和公園に燃え続ける「平和の灯」をトーチにかかげ手から手へ、自分の町から次の町へ青年女性が平和への思いとともに走りつなぐもの。北海道では、1988年に泊原発に核燃料搬入・試運動が開始され、泊原発反対運動が巻き起こっていた。このような情勢のなか反対運動を盛り上げるために開始された。



当日は、集会の運営の手伝いとして、松本さんと孫城さん、竹本さんも活動に参加されていました。

※松本さん撮影



## 2015名寄地協平和の夕べ

平和の火リレーの前日にあたる7月23日(木)に、名寄市風園農村環境改善センターで「名寄地協平和の夕べ」が開催され、剣淵から神戸さんと、松下さんが参加されました。

内容は「集団的自衛権の何がいけないの?」と題し、反核平和の火リレー北海道実行委員会の委員長である齋藤 信さんの講演が行われました。

集団的自衛権とは何か、安全保障関連法案の内容など、現在話題にあがる問題を根本から学ぶ講演になったのではないかと思います。

以下、参加した松下さんから感想です。

集団的自衛権について、やみくもに反対するのではなく、どんなものなのか詳しく説明があり、メリットも紹介されたのでわかりやすかったです。

自衛権の地理的制限がなくなって、日本人をどこにでも助にいと考えると、それはそれでいいことのようにも感じました。しかし、武力をどんどん認めていって、気が付けば戦争の中心にいる・・・ということもあり得ない話ではないのかなとも感じます。講話全体を通して、やっぱりどんなことにも平和的解決を目指したいと考えました。

松下 由惟

## けんぶち夏まつり行事に参加

8月23日(日) 毎年恒例のけんぶち夏まつりがふれあい広場で開催され、青年部も商工会青年部の皆さんと地域の行事に参加しました。

今年は、青年部から15名参加し、毎年恒例のバーベキュー券引換、ビール販売に加え、今年からかき氷も販売(あいにくの肌寒さでしたが)もを行いました。全員で準備、販売、炭おこし、片付けまで、みんな一丸となって作業をこなし無事に夏の一大行事を終えることが出来ました。

終了後にはやまもと亭で慰労会と、盛大に盛り上がりました。

**イベントに参加された皆さんお疲れさまでした。**

※とても残念なことに、カメラを持っていくのを忘れてしまったため、折角の皆さんの活躍を写真に収めることが出来ませんでした。申し訳ありません・・・

